

別表-1

ワイヤーロープウインチ式ゲート点検表

平成27年9月1日(提出)

排水樋管 の名称	排水樋管	点検実施日	責任者	
		平成27年9月1日	操作員 氏名印	
名称	点検項目	点検方法	点検内容	判定
ゲート及び戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況	目視確認及び清掃	ゲート及び戸当り(戸溝)の損傷及び発錆の確認及び各部の清掃。	○
	水密ゴムの確認	目視確認	水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷がないか確認。	○
	漏水の確認(本川の水量がある場合)	目視確認	全閉時川裏側への水の流れがあるか確認。	○
開閉装置	捲上機及び操作盤等の外部の状態、懸下ワイヤの弛み	目視確認及び清掃	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲での清掃、ワイヤの弛み確認。	○
	潤滑油(オイルやグリス)の状態	目視確認	漏れ・滲みの確認。 オイルゲージ(油面計)等で油量確認。	○
	電源の確認	操作盤への通電確認	引き込みブレーカーの操作。	○
	操作盤	ランプテスト	ランプテストボタンにて、ランプ切れがないか確認。	○
	電動及び動力の切替	切替作業手順の確認	切替作業までを行うものとする。 動力の作動確認は不要。	○
	ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が上昇し、逆流防止のため当該排水樋管も全閉している場合は、ゲートの開閉状況の点検は省略する。)	作動確認	押しボタン操作で開閉できるか確認。 (操作は原則として全閉全開とする。)	○
	異状音の有無	目視確認	ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート付近からの異状音の有無の確認。 (戸当りとゲートの間にローラの回転不良等何らかの摩擦があれば上記が発生する。)	○
	開度指示の確認	目視確認	停止ボタンによる途中停止が可能か確認。 全閉・全開時に自動停止できるか確認。 全閉・全開時、開度指示計とゲートの位置があつているか確認。	○
エンジン式 予備動力 又は発電機 (予備動力が 手動の場合 は不要)	始動状況	作動確認	スムーズに始動できるか確認。	○
	オイル漏れや燃料の確認	目視確認	漏れ、滲みの有無の確認。 燃料の補給が必要かどうか確認。	○
	振動及び異状音の確認	聴視確認	甚だしい振動及び異常音の有無の確認。	○
	管理橋・操作台・手摺の状況	目視確認	落書きや著しい損傷及び発錆の確認。	○
その他	操作建屋の状況	目視確認	雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の確認。	○
	照明設備の状況	点灯確認	点灯の確認。	○
	進入扉・施錠(南京錠)の状況	状況確認	開閉状況及び損傷の確認。	○
	階段(呑口・吐口)及び進入路等	目視確認 清掃除草	階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。 ゲート及び進入路等、操作及び監視に必要な箇所の除草。	○
	量水標の状態	清掃及び 目視確認	可能な範囲での清掃。 発錆・汚損がなく水位を読むことができるか確認。	○
	コンクリート構造物の状況	目視確認	門柱・脇壁・翼壁等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。	○
	取付護岸等の損傷 (呑口・吐口共及び転落防止柵を含む)	目視確認 清掃除草	取付護岸や排水路護岸等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。転落防止柵の損傷の確認及び絡んでいる草がある場合は除草。	○
	水路内の堆積土等	目視確認	著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等があるか確認。	○
	網体(コンクリートボックス・ヒューム管)	目視確認	危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。	○
	呑口・吐口の清掃及び除草	目視確認 清掃除草	呑口・吐口の全体及び量水標が見えることを確認。	○
記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す)			
	処置 (出張所記入)			

注 該当しない項目は/で抹消すること。

別表-1

電動ゲート点検表

平成27年8月24日(提出)

排水樋管の名称	新堤 排水樋管	点検実施日	責任者	
		平成27年8月24日	操作員 氏名印	
名称	点検項目	点検方法	点検内容	判定 良であれば○を記す。 清掃した場合は◎を記す。 不良の場合△を記す。
ゲート及び戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況	目視確認及び清掃	ゲート及び戸当り(戸清)の損傷及び発錆の確認及び各部の清掃。	○
	水密ゴムの確認	目視確認	水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷がないか確認。	○
	漏水の確認(本川の水量がある場合)	目視確認	全閉時川裏側への水の流れがあるか確認。	△
開閉装置	掩上機及び操作盤等の外部の状態	目視確認及び清掃	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲での清掃。	○
	潤滑油(オイルやグリス)の状態	目視確認	漏れ・滲みの確認。	○
	吊り棒(ラック棒・スピンドル棒)及び振止(軸受)の状態	目視確認	オイルゲージ(油面計)等で油量確認。折れ曲がりや損傷の確認。	○
	電源の確認	操作盤への通電確認	引き込みブレーカーの操作。	○
	操作盤	ランプテスト	ランプテストボタンにて、ランプ切れがないか確認。	○
	ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が上昇し、逆流防止のため当該排水樋管も全閉している場合は、ゲートの開閉状況の点検は省略する。)	作動確認	押しボタン操作で開閉できるか確認。 (操作は原則として全閉全開とする。)	○
		異状音の有無	ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート付近からの異状音の有無の確認。 (戸当りとゲートの間にローラの回転不良等何らかの摩擦があれば上記が発生する。)	○
		作動確認	停止ボタンによる途中停止が可能か確認。 全閉・全開時に自動停止できるか確認。	○
	手動操作	作動確認	自重降下レバーを操作し、正常に降下することを確認。	○
	開度指示の確認	目視確認	手動ハンドルがスムーズに動くか確認。 開度指示計とゲートの位置が合っているか確認。	○
その他	管理橋・操作台・手摺の状況	目視確認	落書きや著しい損傷及び発錆の確認。	○
	操作建屋の状況	目視確認	操作建屋のある樋管の場合のみ適用。 雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の確認。	○
	照明設備の状況	点灯確認	点灯の確認。	○
	進入扉・施錠(南京錠)の状況	状況確認	閉鎖状況及び損傷の確認。	○
	階段(呑口・吐口)及び進入路等	目視確認 清掃除草	階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。 ゲート及び引込み柱への進入路等、操作及び監視に必要な箇所の除草。	○
	量水標の状態	清掃及び目視確認	可能な範囲での清掃。 発錆・汚損がなく水位を読むことができるか確認。	○
	コンクリート構造物の状況	目視確認	門柱・胸壁・翼壁等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。	○
	取付護岸等の損傷 (呑口・吐口共及び転落防止柵を含む)	目視確認 清掃除草	取付護岸や排水路護岸等の、落書きや角裂・陥没・剥離等の確認。 転落防止柵の損傷の確認及び絡んでいる草がある場合は除草。	○
	水路内の堆積土等	目視確認	著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等があるか確認。	○
	樋管(コンクリートボックス・ヒューム管)	目視確認	危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。	○
	呑口・吐口の清掃及び除草	目視確認 清掃除草	呑口・吐口の全体及び量水標が見えることを確認。 草等で見えない場合は、危険のない範囲で除草。	○
	樋管周辺の美化環境の維持	目視確認 及び清掃	ゴミの有無を確認。堅易なゴミは除去。	○
記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す)			
処置 (出張所記入)				

注 該当しない項目は/で抹消すること。

別表-1

電動ゲート点検表

平成27年8月3日(提出)

排水樋管の名称	芦窓戸 排水樋管	点検実施日 平成27年8月3日	責任者 操作員 氏名印	
名称	点検項目	点検方法	点検内容	判定 良であれば○を記す。 清掃した場合は◎を記す。 不良の場合△を記す。
ゲート及び戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況 水密ゴムの確認 漏水の確認（本川の水量がある場合）	目視確認及び清掃 目視確認 目視確認	ゲート及び戸当り（戸溝）の損傷及び発錆の確認及び各部の清掃。 水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷がないか確認。 全閉時川裏側への水の流れがあるか確認。	○ ○ ○
開閉装置	捲上機及び操作盤等の外部の状態 潤滑油（オイルやグリス）の状態 吊り棒（ラック棒・スピンドル棒）及び振止（軸受）の状態 電源の確認 操作盤	目視確認及び清掃 目視確認 目視確認 操作盤への通電確認 ランプテスト	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲での清掃。 漏れ・滲みの確認。 オイルゲージ（油面計）等で油量確認。 折れ曲がりや損傷の確認。 引き込みブレーカーの操作。	○ ○ ○ ○ ○
手動操作	ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が上昇し、逆流防止のため当該排水樋管も全閉している場合は、ゲートの開閉状況の点検は省略する。)	作動確認 異状音の有無 作動確認	押しボタン操作で開閉できるか確認。 (操作は原則として全閉全開とする。) ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート付近からの異状音の有無の確認。 (戸当りとゲートの間にローラの回転不良等何らかの摩擦があれば上記が発生する。) 停止ボタンによる途中停止が可能か確認。 全閉・全開時に自動停止できるか確認。	○ ○ ○
その他	量水標の状態 コンクリート構造物の状況 取付護岸等の損傷 (呑口・吐口共及び転落防止柵を含む) 水路内の堆積土等 函体（コンクリートボックス・ヒューム管） 呑口・吐口の清掃及び除草 樋管周辺の美化環境の維持	目視確認 目視確認 点灯確認 状況確認 目視確認 清掃除草 清掃及び目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認	落書きや著しい損傷及び発錆の確認。 操作建屋のある樋管の場合のみ適用。 雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の確認。 点灯の確認。 開閉状況及び損傷の確認。 階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。 ゲート及び引込み柱への進入路等、操作及び監視に必要な箇所の除草。 可能な範囲での清掃。 発錆・汚損がなく水位を読むことができるか確認。 門柱・脇壁・翼壁等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。 取付護岸や排水路護岸等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。 転落防止柵の損傷の確認及び絡んでいる草がある場合は除草。 著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等があるか確認。 危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。 呑口・吐口の全体及び量水標が見えることを確認。 雑草等で見えない場合は、危険のない範囲で除草。 ゴミの有無を確認。軽易なゴミは除去。	○ ○
記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す)			
処置 (出張所記入)				

注 該当しない項目は／で抹消すること。

別表-1

電動ゲート点検表

平成27年8月23日(提出)

排水樋管の名称	玉造排水樋管	点検実施日 平成27年8月24日	責任者 操作員 氏名印
名称	点検項目	点検方法	点検内容
ゲート及び戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況 水密ゴムの確認 漏水の確認(本川の水量がある場合)	目視確認及び清掃 目視確認 目視確認	ゲート及び戸当り(戸溝)の損傷及び発錆の確認及び各部の清掃。 水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷がないか確認。 全閉時川裏側への水の流れがあるか確認。
開閉装置	捲上機及び操作盤等の外部の状態 潤滑油(オイルやグリス)の状態 吊り棒(ラック棒・スピンドル棒)及び振止(軸受)の状態 電源の確認 操作盤 ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が上昇し、逆流防止のため当該排水樋管も全閉している場合は、ゲートの開閉状況の点検は省略する。) 手動操作 開度指示の確認	目視確認及び清掃 目視確認 目視確認 操作盤への通電確認 ランプテスト 作動確認 異状音の有無 作動確認 作動確認 目視確認	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲での清掃。 漏れ・滲みの確認。 オイルゲージ(油面計)等で油量確認。 折れ曲がりや損傷の確認。 引き込みブレーカーの操作。 ランプテストボタンにて、ランプ切れがないか確認。 押しボタン操作で開閉できるか確認。(操作に原則として全閉全開とする。) ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート付近からの異状音の有無の確認。 (戸当りとゲートの間にローラの回転不良等何らかの摩擦があれば上記が発生する。) 停止ボタンによる途中停止が可能か確認。 全閉・全開時に自動停止できるか確認。 自重降下レバーを操作し、正常に降下することを確認。 手動ハンドルがスムーズに動くか確認。 開度指示計とゲートの位置があつていいか確認。
その他	管理橋・操作台・手摺の状況 操作建屋の状況 照明設備の状況 進入扉・施錠(南京錠)の状況 階段(呑口・吐口)及び進入路等 量水標の状態 コンクリート構造物の状況 取付護岸等の損傷 (呑口・吐口共及び転落防止柵を含む) 水路内の堆積土等 函体(コンクリートボックス・ヒューム管) 呑口・吐口の清掃及び除草 樋管周辺の美化環境の維持	目視確認 目視確認 点灯確認 状況確認 目視確認 清掃及び目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認	落書きや著しい損傷及び発錆の確認。 操作建屋のある樋管の場合のみ適用。 雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の確認。 点灯の確認。 開閉状況及び損傷の確認。 階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。 ゲート及び引込み柱への進入路等、操作及び監視に必要な箇所の除草。 可能な範囲での清掃、発錆・汚損がなく水位を読むことができるか確認。 門柱・胸壁・翼壁等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。 取付護岸や排水路護岸等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。転落防止柵の損傷の確認及び絡んでいる草がある場合は除草。 著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等があるか確認。 危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。 呑口・吐口の全体及び量水標が見えることを確認。雑草等で見えない場合は、危険のない範囲で除草。 ゴミの有無を確認。軽易なゴミは除去。
記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す)		
処置 (出張所記入)			

注 該当しない項目はノで抹消すること。

別表-1

電動ゲート点検表

平成27年8月3日(提出)

排水樋管の名称	浅川 錫川 排水樋管	点検実施日	責任者	
		平成27年8月3日	操作員 氏名印	
名称	点検項目	点検方法	点検内容	判定 良であれば○を記す。 清掃した場合は◎を記す。 不良の場合△を記す。
ゲート及び戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況	目視確認及び清掃	ゲート及び戸当り(戸溝)の損傷及び発錆の確認及び各部の清掃。	○
	水密ゴムの確認	目視確認	水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷がないか確認。	○
	漏水の確認(本川の水量がある場合)	目視確認	全閉時川裏側への水の流れがあるか確認。	○
開閉装置	捲上機及び操作盤等の外部の状態	目視確認及び清掃	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲での清掃。	○
	潤滑油(オイルやグリス)の状態	目視確認	漏れ・滲みの確認。 オイルゲージ(油面計)等で油量確認。	○
	吊り棒(ラック棒・スピンドル棒)及び振止(軸受)の状態	目視確認	折れ曲がりや損傷の確認。	○
	電源の確認	操作盤への通電確認	引き込みブレーカーの操作。	○
	操作盤	ランプテスト	ランプテストボタンにて、ランプ切れがないか確認。	○
	ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が上昇し、逆流防止のため当該排水樋管も全閉している場合は、ゲートの開閉状況の点検は省略する。)	作動確認	押しボタン操作で開閉できるか確認。 (操作は原則として全閉全開とする。)	○
		異状音の有無	ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート付近からの異音の有無の確認。 (戸当りとゲートの間にローラの回転不良等何らかの摩擦があれば上記が発生する。)	○
		作動確認	停止ボタンによる途中停止が可能か確認。 全閉・全開時に自動停止できるか確認。	○
	手動操作	作動確認	自重降下レバーを操作し、正常に降下することを確認。 手動ハンドルがスムーズに動くか確認。	○
	開度指示の確認	目視確認	開度指示計とゲートの位置があつてあるか確認。	○
その他	管理橋・操作台・手摺の状況	目視確認	落書きや著しい損傷及び発錆の確認。	○
	操作建屋の状況	目視確認	操作建屋のある樋管の場合のみ適用。 雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の確認。	△
	照明設備の状況	点灯確認	点灯の確認。	○
	進入扉・施錠(南京錠)の状況	状況確認	開閉状況及び損傷の確認。	○
	階段(呑口・吐口)及び進入路等	目視確認 清掃除草	階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。 ゲート及び引込み柱への進入路等、操作及び監視に必要な箇所の除草。	○
	量水標の状態	清掃及び目視確認	可能な範囲での清掃。 発錆・汚損がなく水位を読むことができるか確認。	○
	コンクリート構造物の状況	目視確認	門柱・脇壁・翼壁等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。	○
	取付護岸等の損傷 (呑口・吐口共及び転落防止柵を含む)	目視確認 清掃除草	取付護岸や排水路護岸等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。 転落防止柵の損傷の確認及び絡んでいる草がある場合は除草。	○
	水路内の堆積土等	目視確認	著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等があるか確認。	○
	函体(コンクリートボックス・ヒューム管)	目視確認	危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。	○
	呑口・吐口の清掃及び除草	目視確認 清掃除草	呑口・吐口の全体及び量水標が見えることを確認。 雑草等で見えない場合は、危険のない範囲で除草。	○
	樋管周辺の美化環境の維持	目視確認 及び清掃	ゴミの有無を確認。 軽易なゴミは除去。	○
記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す)			
処置 (出張所記入)				

注 該当しない項目は/で抹消すること。

別表-1

電動ゲート点検表

平成27年8月3日(提出)

排水樋管の名称	排水樋管 志村	点検実施日 平成27年8月27日	責任者 操作員 氏名印
名称	点検項目	点検方法	点検内容 清掃した場合は○を記す。 不良の場合は内容を記す。
ゲート及び戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況	目視確認及び清掃	ゲート及び戸当り(戸溝)の損傷及び発錆の確認及び各部の清掃。
	水密ゴムの確認	目視確認	水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷がないか確認。
	漏水の確認(本川の水量がある場合)	目視確認	全閉時川裏側への水の流れがあるか確認。
開閉装置	捲上機及び操作盤等の外部の状態	目視確認及び清掃	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲での清掃。
	潤滑油(オイルやグリス)の状態	目視確認	漏れ・滲みの確認。 オイルゲージ(油面計)等で油量確認。
	吊り棒(ラック棒・スピンドル棒)及び振止(軸受)の状態	目視確認	折れ曲がりや損傷の確認。
	電源の確認	操作盤への通電確認	引き込みブレーカーの操作。
	操作盤	ランプテスト	ランプテストボタンにて、ランプ切れがないか確認。
	ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が上昇し、逆流防止のため当該排水樋管も全閉している場合は、ゲートの開閉状況の点検は省略する。)	作動確認	押しボタン操作で開閉できるか確認。 (操作は原則として全閉全開とする。)
		異状音の有無	ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート付近からの異状音の有無の確認。 (戸当りとゲートの間にローラの回転不良等何らかの摩擦があれば上記が発生する。)
		作動確認	停止ボタンによる途中停止が可能か確認。 全閉・全開時に自動停止できるか確認。
	手動操作	作動確認	自重降下レバーを操作し、正常に降下することを確認。 手動ハンドルがスムーズに動くか確認。
	開度指示の確認	目視確認	開度指示計とゲートの位置があつてあるか確認。
その他	管理橋・操作台・手摺の状況	目視確認	落書きや著しい損傷及び発錆の確認。
	操作建屋の状況	目視確認	操作建屋のある樋管の場合のみ適用。 雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の確認。
	照明設備の状況	点灯確認	点灯の確認。
	進入扉・施錠(南京錠)の状況	状況確認	閉鎖状況及び損傷の確認。
	階段(呑口・吐口)及び進入路等	目視確認 清掃除草	階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。 ゲート及び引込み柱への進入路等、操作及び監視に必要な箇所の除草。
	量水標の状態	清掃及び目視確認	可能な範囲での清掃。発錆・汚損がなく水位を読むことができるか確認。
	コンクリート構造物の状況	目視確認	門柱・胸壁・翼壁等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。
	取付護岸等の損傷 (呑口・吐口共及び転落防止柵を含む)	目視確認 清掃除草	取付護岸や排水路護岸等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。転落防止柵の損傷の確認及び絡んでいる草がある場合は除草。
	水路内の堆積土等	目視確認	著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等があるか確認。
	函体(コンクリートボックス・ヒューム管)	目視確認	危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。
記事	呑口・吐口の清掃及び除草	目視確認 清掃除草	呑口・吐口の全体及び量水標が見えることを確認。雑草等で見えない場合は、危険のない範囲で除草。
	樋管周辺の美化環境の維持	目視確認及び清掃	ゴミの有無を確認。軽易なゴミは除去。
処置 (出張所記入)			

注 該当しない項目はノンで抹消すること。

別表-1

電動ゲート点検表

平成27年10月2日(提出)

排水樋管の名称	排水樋管 香取下	点検実施日 平成27年9月5日	責任者 操作員 氏名印
名称	点検項目	点検方法	点検内容
ゲート及び戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況	目視確認及び清掃	ゲート及び戸当り(戸溝)の損傷及び発錆の確認及び各部の清掃。
	水密ゴムの確認	目視確認	水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷がないか確認。
	漏水の確認(本川の水量がある場合)	目視確認	全閉時川裏側への水の流れがあるか確認。
開閉装置	捲上機及び操作盤等の外部の状態	目視確認及び清掃	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲での清掃。
	潤滑油(オイルやグリス)の状態	目視確認	漏れ・滲みの確認。 オイルゲージ(油面計)等で油量確認。
	吊り棒(ラック棒・スピンドル棒)及び振止(軸受)の状態	目視確認	折れ曲がりや損傷の確認。
	電源の確認	操作盤への通電確認	引き込みブレーカーの操作。
	操作盤	ランプテスト	ランプテストボタンにて、ランプ切れがないか確認。
	ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が上昇し、逆流防止のため当該排水樋管も全閉している場合は、ゲートの開閉状況の点検は省略する。)	作動確認	押しボタン操作で開閉できるか確認。 (操作は原則として全閉全開とする。)
		異状音の有無	ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート付近からの異状音の有無の確認。 (戸当りとゲートの間にローラの回転不良等何らかの摩擦があれば上記が発生する。)
		作動確認	停止ボタンによる途中停止が可能か確認。 全閉・全開時に自動停止できるか確認。
	手動操作	作動確認	自重降下レバーを操作し、正常に降下することを確認。
		目視確認	手動ハンドルがスムーズに動くか確認。 開度指示計とゲートの位置があつてあるか確認。
	管理橋・操作台・手摺の状況	目視確認	落書きや著しい損傷及び発錆の確認。
	操作建屋の状況	目視確認	操作建屋のある樋管の場合のみ適用。 雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の確認。
	照明設備の状況	点灯確認	点灯の確認。
その他	進入扉・施錠(南京錠)の状況	状況確認	開閉状況及び損傷の確認。
	階段(呑口・吐口)及び進入路等	目視確認 清掃除草	階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。 ゲート及び引込み柱への進入路等、櫻作及び監視に必要な箇所の除草。
	量水標の状態	清掃及び目視確認	可能な範囲での清掃。発錆・汚損がなく水位を読むことができるか確認。
	コンクリート構造物の状況	目視確認	門柱・胸壁・翼壁等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。
	取付護岸等の損傷 (呑口・吐口共及び転落防止柵を含む)	目視確認 清掃除草	取付護岸や排水路護岸等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。転落防止柵の損傷の確認及び絡んでいる草がある場合は除草。
	水路内の堆積土等	目視確認	著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等があるか確認。
	函体(コンクリートボックス・ヒューム管)	目視確認	危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。
	呑口・吐口の清掃及び除草	目視確認 清掃除草	呑口・吐口の全体及び量水標が見えることを確認。雑草等で見えない場合は、危険のない範囲で除草。
	樋管周辺の美化環境の維持	目視確認 及び清掃	ゴミの有無を確認。軽易なゴミは除去。
記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す)		
処置 (出張所記入)			

注 該当しない項目は/で抹消すること。

別表-1

電動ゲート点検表

平成27年8月3日(提出)

排水樋管 の名称	豊坂 排水樋管	点検実施日		責任者 操作員 氏名印
		平成27年8月3日		
名称	点検項目	点検方法	点検内容	判定
ゲート及び 戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況	目視確認 及び清掃	ゲート及び戸当り(戸溝)の損傷及び発錆の確認及び各部の清掃。	○
	水密ゴムの確認	目視確認	水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷がないか確認。	○
	漏水の確認(本川の水量がある場合)	目視確認	全閉時川裏側への水の流れがあるか確認。	○
開閉装置	捲上機及び操作盤等の外部の状態	目視確認 及び清掃	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲での清掃。	○
	潤滑油(オイルやグリス)の状態	目視確認	漏れ・滲みの確認。 オイルゲージ(油面計)等で油量確認。	○
	吊り棒(ラック棒・スピンドル棒)及び振止(軸受)の状態	目視確認	折れ曲がりや損傷の確認。	○
	電源の確認	操作盤への通電確認	引き込みブレーカーの操作。	○
	操作盤	ランプテスト	ランプテストボタンにて、ランプ切れがないか確認。	○
	ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が上昇し、逆流防止のため当該排水樋管も全閉している場合は、ゲートの開閉状況の点検は省略する。)	作動確認 異状音の有無	押しボタン操作で開閉できるか確認。 (操作は原則として全閉全開とする。) ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート寸近からの異状音の有無の確認。 (戸当りとゲートの間にローラの回転不良等何らかの摩擦があれば上記が発生する。) 停止ボタンによる途中停止が可能か確認。 全閉・全開時に自動停止できるか確認。	○
	手動操作	作動確認	自重降下レバーを操作し、正常に降下することを確認。	○
	開度指示の確認	目視確認	手動ハンドルがスムーズに動くか確認。 開度指示計とゲートの位置があつてあるか確認。	○
その他	管理橋・操作台・手摺の状況	目視確認	落書きや著しい損傷及び発錆の確認。	○
	操作建屋の状況	目視確認	操作建屋のある樋管の場合のみ適用。 雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の確認。	○
	照明設備の状況	点灯確認	点灯の確認。	○
	進入扉・施錠(南京錠)の状況	状況確認	開閉状況及び損傷の確認。	○
	階段(呑口・吐口)及び進入路等	目視確認 清掃除草	階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。 ゲート及び引込み柱への進入路等、操作及び監視に必要な箇所の除草。	○
	量水標の状況	清掃及び目視確認	可能な範囲での清掃。 発錆・汚損がなく水位を読むことができるか確認。	○
	コンクリート構造物の状況	目視確認	門柱・胸壁・翼壁等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。	○
	取付護岸等の損傷 (呑口・吐口共及び転落防止柵を含む)	目視確認 清掃除草	取付護岸や排水路護岸等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。 転落防止柵の損傷の確認及び絡んでいる草がある場合は除草。	○
	水路内の堆積土等	目視確認	著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等があるか確認。	○
	函体(コンクリートボックス・ヒューム管)	目視確認	危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。	○
	呑口・吐口の清掃及び除草	目視確認 清掃除草	呞口・吐口の全体及び量水標が見えることを確認。 雑草等で見えない場合は、危険のない範囲で除草。	○
	樋管周辺の美化環境の維持	目視確認 及び清掃	ゴミの有無を確認。 軽易なゴミは除去。	○
記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す)			
処置 (出張所記入)				

注 該当しない項目は/で抹消すること。

別表-1

電動ゲート点検表

平成29年10月～日(提出)

排水樋管の名称	古川木桶管 排水樋管	点検実施日	責任者	
		平成27年 9月 5日	操作員 氏名印	
名称	点検項目	点検方法	点検内容	判定 良であれば○を記す。 清掃した場合は○を記す。 不良の場合△は内容を記す。
ゲート及び 戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況	目視確認 及び清掃	ゲート及び戸当り(戸溝)の損傷及び発錆の確認及び各部の清掃。	○
	水密ゴムの確認	目視確認	水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷がないか確認。	○
	漏水の確認(本川の水量がある場合)	目視確認	全閉時川裏側への水の流れがあるか確認。	○
開閉装置	捲上機及び操作盤等の外部の状態	目視確認 及び清掃	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲での清掃。	○
	潤滑油(オイルやグリス)の状態	目視確認	漏れ・滲みの確認。 オイルゲージ(油面計)等で油量確認。	○
	吊り棒(ラック棒・スピンドル棒)及び 振止(軸受)の状態	目視確認	折れ曲がりや損傷の確認。	○
	電源の確認	操作盤への 通電確認	引き込みブレーカーの操作。	○
	操作盤	ランプテスト	ランプテストボタンにて、ランプ切れがないか確認。	○
	ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が 上昇し、逆流防止のため当該排水 樋管も全閉している場合は、ゲート の開閉状況の点検は省略する。)	作動確認	押しボタン操作で開閉できるか確認。 (操作は原則として全閉全開とする。)	○
		異状音の 有無	ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート付近からの異状音の有無の確認。 (戸当りとゲートの間にローラの回転不良等何らかの摩擦があれば上記が発生する。)	○
		作動確認	停止ボタンによる途中停止が可能か確認。 全閉・全開時に自動停止できるか確認。	○
	手動操作	作動確認	自重降下レバーを操作し、正常に降下することを確認。	○
	開度指示の確認	目視確認	手動ハンドルがスムーズに動くか確認。 開度指示計とゲートの位置があつているか確認。	○
その他	管理橋・操作台・手摺の状況	目視確認	落書きや著しい損傷及び発錆の確認。	○
	操作建屋の状況	目視確認	操作建屋のある樋管の場合のみ適用。 雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の確認。	○
	照明設備の状況	点灯確認	点灯の確認。	○
	進入扉・施錠(南京錠)の状況	状況確認	開閉状況及び損傷の確認。	○
	階段(呑口・吐口)及び進入路等	目視確認 清掃除草	階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。 ゲート及び引込み柱への進入路等、操作及び監視に必要な箇所の除草。	○
	量水標の状態	清掃及び 目視確認	可能な範囲での清掃。 発錆・汚損がなく 水位を読むことができるか確認。	○
	コンクリート構造物の状況	目視確認	門柱・胸壁・翼壁等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。	○
	取付護岸等の損傷 (呑口・吐口及び転落防止柵を含む)	目視確認 清掃除草	取付護岸や排水路護岸等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。 転落防止柵の損傷の確認及び絡んでいる草がある場合は除草。	○
	水路内の堆積土等	目視確認	著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等があるか確認。	△
	函体(コンクリートボックス・ヒューム管)	目視確認	危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。	○
	呑口・吐口の清掃及び除草	目視確認 清掃除草	呑口・吐口の全体及び量水標が見えることを確認。 雑草等で見えない場合は、危険のない範囲で除草。	○
	樋管周辺の美化環境の維持	目視確認 及び清掃	ゴミの有無を確認。堅易なゴミは除去。	○
記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す)			
処置 (出張所記入)				

注 該当しない項目は/で抹消すること。

別表-1

電動ゲート点検表

平成27年9月1日(提出)

排水樋管の名称	排水樋管 坂巻	点検実施日 平成27年8月18日	責任者 操作員 氏名印	
名称	点検項目	点検方法	点検内容	判定 良であれば○を記す。 清掃した場合は◎を記す。 不良の場合△は内容を記す。
ゲート及び戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況 水密ゴムの確認 漏水の確認（本川の水量がある場合）	目視確認及び清掃 目視確認 目視確認	ゲート及び戸当り（戸溝）の損傷及び発錆の確認及び各部の清掃。 水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷がないか確認。 全閉時川裏側への水の流れがあるか確認。	○ ○ ○
捲上機及び操作盤等の外部の状態	目視確認及び清掃	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲での清掃。	○	
潤滑油（オイルやグリス）の状態	目視確認	漏れ・滲みの確認。 オイルゲージ（油面計）等で油量確認。	○	
吊り棒（ラック棒・スピンドル棒）及び振止（軸受）の状態	目視確認	折れ曲がりや損傷の確認。	○	
電源の確認	操作盤への通電確認	引き込みブレーカーの操作。	○	
操作盤	ランプテスト	ランプテストボタンにて、ランプ切れがないか確認。	○	
開閉装置	ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が上昇し、逆流防止のため当該排水樋管も全閉している場合は、ゲートの開閉状況の点検は省略する。)	作動確認 異状音の有無	押しボタン操作で開閉できるか確認。 (操作は原則として全閉全開とする。) ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート付近からの異状音の有無の確認。 (戸当りとゲートの間にローラの回転不良等何らかの摩擦があれば上記が発生する。)	○ ○
	作動確認	停止ボタンによる途中停止が可能か確認。 全閉・全開時に自動停止できるか確認。	○	
	手動操作	自重降下レバーを操作し、正常に降下することを確認。 手動ハンドルがスムーズに動くか確認。	○ ○	
	開度指示の確認	目視確認	開度指示計とゲートの位置が合っているか確認。	○
その他	管理橋・操作台・手摺の状況 操作建屋の状況 照明設備の状況 進入扉・施錠（南京錠）の状況 階段（呑口・吐口）及び進入路等 量水標の状態 コンクリート構造物の状況 取付護岸等の損傷 (呑口・吐口共及び転落防止柵を含む) 水路内の堆積土等 函体（コンクリートボックス・ヒューム管） 呑口・吐口の清掃及び除草 樋管周辺の美化環境の維持	目視確認 目視確認 点灯確認 状況確認 目視確認 清掃及び目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認 目視確認	落書きや著しい損傷及び発錆の確認。 操作建屋のある樋管の場合のみ適用。 雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の確認。 点灯の確認。 開閉状況及び損傷の確認。 階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。 ゲート及び引込み柱への進入路等、操作及び監視に必要な箇所の除草。 可能な範囲での清掃。発錆・汚損がなく水位を読むことができるか確認。 門柱・胸壁・翼壁等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。 取付護岸や排水路護岸等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。転落防止柵の損傷の確認及び絡んでいる草がある場合は除草。 著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等があるか確認。 危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。 呑口・吐口の全体及び量水標が見えることを確認。雑草等で見えない場合は、危険のない範囲で除草。 ゴミの有無を確認。軽易なゴミは除去。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ △ ○ ○
記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す)			
処置 (出張所記入)				

注 該当しない項目は／で抹消すること。

電動ゲート点検表

普通点検
平成 27 年 09 月 28 日(提出)

排水樋管の名称	鴻巣 排水樋管	点検実施日 平成 27 年 09 月 04 日	責任者 氏名印	
			操作員 氏名印	
名称	点検項目	点検方法	点検内容	判定 良であれば○を記す。 清掃した場合は◎を記す。 不良の場合は内容を記す。
ゲート及び戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況	目視確認	ゲート及び戸当り(戸溝)の損傷及び発錆の確認。	○
	水密ゴムの確認	目視確認	水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷がないか確認。	○
	漏水の確認(本川の水量がある時)	目視確認	全閉時川裏側への水の流れがないか確認。	○
開閉装置	捲上機及び操作盤等の外部の状態	目視確認及び清掃	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲での清掃。	○
	潤滑油(オイルやグリス)の状態	目視確認	漏れ・郭みの確認。オイルゲージ(油面計)等で油量確認。	○
	吊り棒(ラック棒・スピンドル棒)及び振止(軸受)の状態	目視確認	折れ曲がりや損傷の確認。	○
	電源の確認	操作盤への通電確認	引き込みブレーカーの操作。	○
	操作盤	ランプテスト	ランプテストボタンにて、ランプ切れがないか確認。	○
	ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が上昇し、逆流防止のため当該排水樋管も全閉している場合は、ゲートの開閉状況の点検は省略する。)	作動確認	押しボタン操作で開閉できるか確認。(操作は原則として全閉全開とする。)	○
		異常音の有無	ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート付近からの異状音の有無の確認。(戸当りとゲートの間にローラの回転不良等何らかの摩擦があれば上記が発生する。)	○
	手動操作	作動確認	停止ボタンによる途中停止が可能か認。	○
		作動確認	全閉・全開時に自動停止できるか確認。	○
		作動確認	自重降下レバーを操作し、正常に降下することを確認。	○
	開度指示の確認	作動確認	手動ハンドルがスムーズに動くか確認。	○
		目視確認	開度指示計とゲートの位置がっているか確認。	○
その他	管理橋・操作台・手摺の状況	目視確認	落書や著しい損傷及び発錆の確認。	○
	操作建屋の状況	目視確認	操作建屋のある樋管の場合のみ適用。雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の確認。	
	照明設備の状況	点灯確認	点灯の確認。	○
	進入扉・施錠(南京錠)の状況	状況確認	開閉状況及び損傷の確認。	○
	階段(呑口・吐口)及び進入路等	目視確認 清掃除草	階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。ゲート及び引込み柱への進入路等、操作及び監視に必要な箇所の除草。	○
	量水標の状態	清掃及び 目視確認	可能な範囲での清掃。発錆・汚損がなく水位を読むことができるか確認。	○
	コンクリート構造物の状況	目視確認	門柱・胸壁・翼壁等の、落書や亀裂・陥没・剥離等の確認。	○
	取付護岸等の損傷(呑口・吐口共及び転落防止柵を含む)	目視確認 清掃除草	取付護岸や排水路護岸等の、落書や亀裂・陥没・剥離等の確認。転落防止柵の損傷の確認及び絡んでいる草がある場合は除草。	○
	水路内の堆積土等	目視確認	著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等があるか確認。	○
	函体(コンクリートバックス・ヒューム管)	目視確認	危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。	○
	呑口・吐口の清掃及び除草	目視確認 清掃除草	呑口・吐口の全体及び量水標が見えることを確認。雑草等で見えない場合は、危険のない範囲で除草。	○
	樋管周辺の美化環境の維持	目視確認 及び清掃	ゴミの有無を確認。軽易なゴミは除去。	○
記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す)			
処置 (出張所記入)				

注 該当しない項目は/で抹消すること。

別表-1

電動ゲート点検表

平成27年8月26日(提出)

排水樋管の名称	豊川 排水樋管	点検実施日 平成27年8月25日	責任者 操作員 氏名印	
名称	点検項目	点検方法	点検内容	判定 良であれば○を記す。 清掃した場合は◎を記す。 不良の場合△を記す。
ゲート及び戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況	目視確認及び清掃	ゲート及び戸当り(戸溝)の損傷及び発錆の確認及び各部の清掃。	○
	水密ゴムの確認	目視確認	水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷がないか確認。	○
	漏水の確認(本川の水量がある場合)	目視確認	全閉時川裏側への水の流れがあるか確認。	○
開閉装置	捲上機及び操作盤等の外部の状態	目視確認及び清掃	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲での清掃。	○
	潤滑油(オイルやグリス)の状態	目視確認	漏れ・渋みの確認。 オイルゲージ(油面計)等で油量確認。	○
	吊り奉(ラック棒・スピンドル奉)及び振止(軸受)の状態	目視確認	折れ曲がりや損傷の確認。	○
	電源の確認	操作盤への通電確認	引き込みブレーカーの操作。	○
	操作盤	ランプテスト	ランプテストボタンにて、ランプ切れがないか確認。	○
	ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が上昇し、逆流防止のため当該排水樋管も全閉している場合は、ゲートの開閉状況の点検は省略する。)	作動確認	押しボタン操作で開閉できるか確認。 (操作は原則として全閉全開とする。) ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート付近からの異状音の有無の確認。 (戸当りとゲートの間にコートの回転不良等何らかの摩擦があれば上記が発生する。)	○
	手動操作	作動確認	停止ボタンによる途中停止が可能か確認。 全閉・全開時に自動停止できるか確認。 自重降下レバーを操作し、正常に降下することを確認。	○ ○
	開度指示の確認	目視確認	手動ハンドルがスムーズに動くか確認。 開度指示計とゲートの位置があつていいか確認。	○
	管理橋・操作台・手摺の状況	目視確認	落書きや著しい損傷及び発錆の確認。	○
	操作建屋の状況	目視確認	操作建屋のある樋管の場合のみ適用。 雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の確認。	
その他	照明設備の状況	点灯確認	点灯の確認。	○
	進入扉・施錠(南京錠)の状況	状況確認	開閉状況及び損傷の確認。	○
	階段(呑口・吐口)及び進入路等	目視確認 清掃除草	階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。 ゲート及び引込み柱への進入路等、操作及び監視に必要な箇所の除草。	○
	量水標の状態	清掃及び目視確認	可能な範囲での清掃。 発錆・汚損がなく水位を読むことができるか確認。	○
	コンクリート構造物の状況	目視確認	門柱・胸壁・翼壁等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。	○
	取付護岸等の損傷 (呑口・吐口共及び転落防止柵を含む)	目視確認 清掃除草	取付護岸や排水路護岸等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。 転落防止柵の損傷の確認及び絡んでいる草がある場合は除草。	○
	水路内の堆積土等	目視確認	著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等があるか確認。	
	函体(コンクリートボックス・ヒューム管)	目視確認	危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。	○
	呑口・吐口の清掃及び除草	目視確認 清掃除草	呑口・吐口の全体及び量水標が見えることを確認。 雜草等で見えない場合は、危険のない範囲で除草。	○
	樋管周辺の美化環境の維持	目視確認及び清掃	ゴミの有無を確認。 軽易なゴミは除去。	○
記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す)			
処置 (出張所記入)				

注 該当しない項目はノで抹消すること。

別表-1

電動ゲート点検表

平成21年9月20日(提出)

排水樋管の名称	鶴沼 排水樋管	点検実施日 平成21年9月4日	責任者 操作員 氏名印
名称	点検項目	点検方法	点検内容 判定 良であれば○を記す。 清掃した場合は◎を記す。 不良の場合△を記す。
ゲート及び戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況	目視確認及び清掃	ゲート及び戸当り(戸溝)の損傷及び発錆の確認及び各部の清掃。○
	水密ゴムの確認	目視確認	水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷がないか確認。○
	漏水の確認(本川の水量がある場合)	目視確認	全閉時川裏側への水の流れがあるか確認。○
	捲上機及び操作盤等の外部の状態	目視確認及び清掃	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲での清掃。○
	潤滑油(オイルやグリス)の状態	目視確認	漏れ・滲みの確認。オイルゲージ(油面計)等で油量確認。○
	吊り棒(ラック棒・スピンドル棒)及び振止(軸受)の状態	目視確認	折れ曲がりや損傷の確認。○
	電源の確認	操作盤への通電確認	引き込みブレーカーの操作。○
開閉装置	操作盤	ランプテスト	ランプテストボタンにて、ランプ切れがないか確認。○
	ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が上昇し、逆流防止のため当該排水樋管も全閉している場合は、ゲートの開閉状況の点検は省略する。)	作動確認	押しボタン操作で開閉できるか確認。(操作は原則として全閉全開とする。)○
		異状音の有無	ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート付近からの異状音の有無の確認。(戸当りとゲートの間にローラの回転不良等何らかの摩擦があれば上記が発生する。)○
		作動確認	停止ボタンによる途中停止が可能か確認。○
			全閉・全開時に自動停止できるか確認。○
	手動操作	作動確認	自重降下レバーを操作し、正常に降下することを確認。○
	開度指示計の確認	目視確認	手動ハンドルがスムーズに動くか確認。○
			開度指示計とゲートの位置があつてあるか確認。○
その他	管理橋・操作台・手溜の状況	目視確認	落書きや著しい損傷及び発錆の確認。○
	操作建屋の状況	目視確認	操作建屋のある樋管の場合のみ適用。雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の確認。○
	照明設備の状況	点灯確認	点灯の確認。○
	進入扉・施錠(南京錠)の状況	状況確認	開閉状況及び損傷の確認。○
	階段(呑口・吐口)及び進入路等	目視確認 清掃除草	階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。ゲート及び引込み柱への進入路等、操作及び監視に必要な箇所の除草。○
	量水標の状態	清掃及び目視確認	可能な範囲での清掃。発錆・汚損がなく水位を読むことができるか確認。○
	コンクリート構造物の状況	目視確認	門柱・胸壁・翼壁等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。○
	取付護岸等の損傷 (呑口・吐口共及び転落防止柵を含む)	目視確認 清掃除草	取付護岸や排水路護岸等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。転落防止柵の損傷の確認及び絡んでいる草がある場合は除草。○
	水路内の堆積土等	目視確認	著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等があるか確認。○
	函体(コンクリートボックス・ヒューム管)	目視確認	危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。○
	呑口・吐口の清掃及び除草	目視確認 清掃除草	呞口・吐口の全体及び量水標が見えることを確認。雑草等で見えない場合は、危険のない範囲で除草。○
	樋管周辺の美化環境の維持	目視確認及び清掃	ゴミの有無を確認。軽易なゴミは除去。○
記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す)		
処置 (出張所記入)			

注 該当しない項目は/で未消すること。

別表-1

電動ゲート点検表

平成27年9月29日(提出)

排水樋管 の名称	池成 排水樋管	点検実施日 平成27年9月5日	責任者	
			操作員 氏名印	
名称	点検項目	点検方法	点検内容	判定 (良であれば○を記す。 清掃した場合は◎を記す。 不良の場合□を記す。)
ゲート及び 戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況	目視確認 及び清掃	ゲート及び戸当り(戸溝)の損傷及び発錆の確認及び各部の清掃。	
	水密ゴムの確認	目視確認	水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷がないか確認。	
	漏水の確認(本川の水量がある場合)	目視確認	全閉時川臺側への水の流れがあるか確認。	
開閉装置	捲上機及び操作盤等の外部の状態	目視確認 及び清掃	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲での清掃。	○
	潤滑油(オイルやグリス)の状態	目視確認	漏れ・滲みの確認。 オイルゲージ(油面計)等で油量確認。	○
	吊り棒(ラック棒・スピンドル棒)及び振止(軸受)の状態	目視確認	折れ曲がりや損傷の確認。	○
	電源の確認	操作盤への 通電確認	引き込みブレーカーの操作。	○
	操作盤	ランプテスト	ランプテストボタンにて、ランプ切れがないか確認。	○
	ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が上昇し、逆流防止のため当該排水樋管も全閉している場合は、ゲートの開閉状況の点検は省略する。)	作動確認	押しボタン操作で開閉できるか確認。 (操作は原則として全閉全開とする。)	○
	異状音の有無	作動確認	ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート寸近からの異状音の有無の確認。 (戸当りとゲートの間にローラの回転不良等何らかの摩擦があれば上記が発生する。)	○
	停止ボタンによる途中停止が可能か確認。	作動確認	停止ボタンによる途中停止が可能か確認。	○
	全閉・全開時に自動停止できるか確認。			○
	手動操作	作動確認	自重降下レバーを操作し、正常に降下することを確認。	○
	開度指示の確認	目視確認	手動ハンドルがスムーズに動くか確認。 開度指示計とゲートの位置が合っているか確認。	○
その他	管理橋・操作台・手摺の状況	目視確認	落書きや著しい損傷及び発錆の確認。	○
	操作建屋の状況	目視確認	操作速度のある樋管の場合のみ適用。 雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の確認。	○
	照明設備の状況	点灯確認	点灯の確認。	○
	進入扉・施錠(南京錠)の状況	状況確認	開閉状況及び損傷の確認。	○
	階段(呑口・吐口)及び進入路等	目視確認 清掃除草	階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。 ゲート及び引込み柱への進入路等、操作及び監視に必要な箇所の除草。	○
	量水標の状態	清掃及び 目視確認	可能な範囲での清掃。 発錆・汚損がなく水位を読むことができるか確認。	○
	コンクリート構造物の状況	目視確認	門柱・胸壁・翼壁等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。	○
	取付護岸等の損傷 (呑口・吐口及び転落防止柵を含む)	目視確認 清掃除草	取付護岸や排水路護岸等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。 転落防止柵の損傷の確認及び絡んでいる草がある場合は除草。	○
	水路内の堆積土等	目視確認	著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等があるか確認。	○
	固体(コンクリートボックス・ヒューム管)	目視確認	危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。	○
	呑口・吐口の清掃及び除草	目視確認 清掃除草	呑口・吐口の全体及び量水標が見えることを確認。 雑草等で見えない場合は、危険のない範囲で除草。	○
	樋管周辺の美化環境の維持	目視確認 及び清掃	ゴミの有無を確認。 軽易なゴミは除去。	○
記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す)			
処置 (出張所記入)				

注 該当しない項目は/で抹消すること。

別表-1

電動ゲート点検表

平成27年8月20日(提出)

排水樋管 の名称	蘇持 排水樋管	点検実施日 平成27年8月20日	責任者 操作員 氏名印
名称	点検項目	点検方法	点検内容 判定 良であれば○を記す。 清掃した場合は◎を記す。 不良の場合△を記す。
ゲート及び 戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況 水密ゴムの確認 漏水の確認(本川の水量がある場合)	目視確認 及び清掃 目視確認 目視確認	ゲート及び戸当り(戸溝)の損傷及び発錆の確認及び各部の清掃。 水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷がないか確認。 全閉時川裏側への水の流れがあるか確認。
捲上機及び操作盤等の外部の状態 潤滑油(オイルやグリス)の状態 吊り棒(ラック棒・スピンドル棒)及び 振止(輪受)の状態 電源の確認 操作盤	目視確認 及び清掃 目視確認 目視確認 操作盤への 通電確認 ランプテスト	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲での清掃。 漏れ・滲みの確認。 オイルゲージ(油面計)等で油量確認。 介れ曲がりや損傷の確認。 引き込みブレーカーの操作。 ランプテストボタンにて、ランプ切れがないか確認。	
開閉装置 ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が 上昇し、逆流防止のため当該排水 樋管も全閉している場合は、ゲート の開閉状況の点検は省略する。)	作動確認 異状音の 有無 作動確認	押しボタン操作で開閉できるか確認。 (操作は原則として全閉全開とする。) ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート付近からの異状音の有無の確認。 (戸当りとゲートの間にローラの回転不良等何らかの摩擦があれば上記が発生する。) 停止ボタンによる途中停止が可能か確認。 全閉・全開時に自動停止できるか確認。 自重降下レバーを操作し、正常に降下することを確認。	
手動操作 開度指示の確認	作動確認 目視確認	手動ハンドルがスムーズに動くか確認。 開度指示計とゲートの位置があつてあるか確認。	
管理橋・操作台・手摺の状況 操作建屋の状況 照明設備の状況 進入扉・施錠(南京錠)の状況 階段(香口・吐口)及び進入路等	目視確認 目視確認 点灯確認 状況確認 目視確認 清掃除草	落書きや著しい損傷及び発錆の確認。 操作建屋のある樋管の場合のみ適用。 雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の確認。 点灯の確認。 開閉状況及び損傷の確認。 階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。 ゲート及び引込み柱への進入路等、操作及び監視に必要な箇所の除草。	
量水標の状態 コンクリート構造物の状況 取付護岸等の損傷 (香口・吐口共及び転落防止柵を含む) 水路内の堆積土等	清掃及び 目視確認 目視確認 目視確認 清掃除草 目視確認	可能な範囲での清掃。発錆・汚損がなく 水位を読むことができるか確認。 門柱・胸壁・翼壁等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。 取付護岸や排水路護岸等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。転落防止柵の損傷の確認及び絡んでいる草がある場合は除草。 著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等があるか確認。	
函体(コンクリートボックス・ヒューム管) 香口・吐口の清掃及び除草 樋管周辺の美化環境の維持	目視確認 目視確認 目視確認 及び清掃	危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。 香口・吐口の全体及び量水標が見えることを確認。雑草等で見えない場合は、危険のない範囲で除草。 ゴミの有無を確認。軽易なゴミは除去。	
記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す)		
処置 (出張所記入)			

注 該当しない項目は/で抹消すること。

別表-1

電動ゲート点検表

平成27年9月4日(提出)

排水樋管の名称	国生	排水樋管	点検実施日 平成27年9月4日	責任者 操作員 氏名印
名称	点検項目	点検方法	点検内容	判定 良であれば○を記す。 清掃した場合は◎を記す。 不良の場合△を記す。
ゲート及び戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況	目視確認及び清掃	ゲート及び戸当り(戸溝)の損傷及び発錆の確認及び各部の清掃。	○
	水密ゴムの確認	目視確認	水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷がないか確認。	○
	漏水の確認(本川の水量がある場合)	目視確認	全閉時川裏側への水の流れがあるか確認。	△
開閉装置	捲上機及び操作盤等の外部の状態	目視確認及び清掃	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲での清掃。	○
	潤滑油(オイルやグリス)の状態	目視確認	漏れ・滲みの確認。 オイルゲージ(油面計)等で油量確認。	○
	吊り棒(ラック棒・スピンドル棒)及び振止(軸受)の状態	目視確認	折れ曲がりや損傷の確認。	○
	電源の確認	操作盤への通電確認	引き込みブレーカーの操作。	○
	操作盤	ランプテスト	ランプテストボタンにて、ランプ切れがないか確認。	○
	ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が上昇し、逆流防止のため当該排水樋管も全閉している場合は、ゲートの開閉状況の点検は省略する。)	作動確認	押しボタン操作で開閉できるか確認。 (操作は原則として全閉全開とする。)	○
		異状音の有無	ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート付近からの異状音の有無の確認。 (戸当りとゲートの間にローラの回転不良等何らかの摩擦があれば上記が発生する。)	○
		作動確認	停止ボタンによる途中停止が可能か確認。 全閉・全開時に自動停止できるか確認。	○
	手動操作	作動確認	自重降下レバーを操作し、正常に降下することを確認。	○
	開度指示の確認	目視確認	手動ハンドルがスムーズに動くか確認。 開度指示計とゲートの位置があつてか確認。	○
その他	管理橋・操作台・手摺の状況	目視確認	落書きや著しい損傷及び発錆の確認。	○
	操作建屋の状況	目視確認	操作建屋のある樋管の場合のみ適用。 雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の確認。	△
	照明設備の状況	点灯確認	点灯の確認。	○
	進入扉・施錠(南京錠)の状況	状況確認	開閉状況及び損傷の確認。	○
	階段(呑口・吐口)及び進入路等	目視確認 清掃除草	階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。 ゲート及び引込み柱への進入路等、操作及び監視に必要な箇所の除草。	○
	量水標の状態	清掃及び目視確認	可能な範囲での清掃。 発錆・汚損がなく水位を読むことができるか確認。	○
	コンクリート構造物の状況	目視確認	門柱・胸壁・翼壁等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。	○
	取付護岸等の損傷 (呑口・吐口共及び転落防止柵を含む)	目視確認 清掃除草	取付護岸や排水路護岸等の、落書きや亀裂・陥没・剥離等の確認。 転落防止柵の損傷の確認及び絡んでいる草がある場合は除草。	○
	水路内の堆積土等	目視確認	著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等があるか確認。	○
	函体(コンクリートボックス・ヒューム管)	目視確認	危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。	○
	呑口・吐口の清掃及び除草	目視確認 清掃除草	呑口・吐口の全体及び量水標が見えることを確認。 雜草等で見えない場合は、危険のない範囲で除草。	○
	樋管周辺の美化環境の維持	目視確認 及び清掃	ゴミの有無を確認。軽易なゴミは除去。	○
記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す)			
処置 (出張所記入)				

注 該当しない項目は/で抹消すること。